

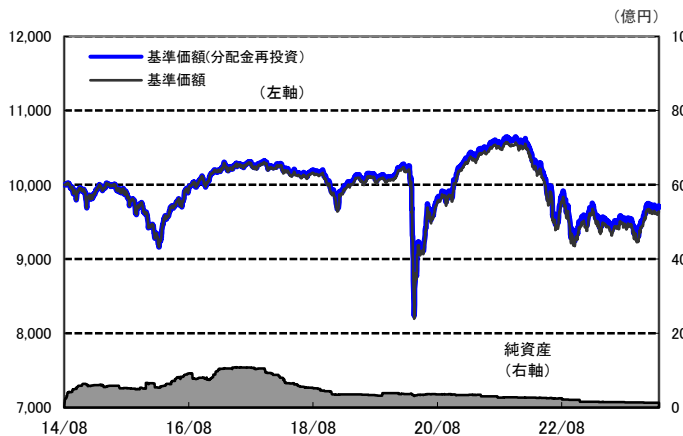


Aコース(米ドル売り円買い 年2回決算型)

運用実績

2024年2月29日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 9,635 円

※分配金控除後

純資産総額 1.3 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-0.0%
3カ月	1.4%
6カ月	1.7%
1年	1.3%
3年	-6.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -2.9%

- 信託設定日 2014年8月11日
- 信託期間 2024年8月6日まで
- 決算日 原則2月、8月の各6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2024年2月	0 円
2023年8月	0 円
2023年2月	0 円
2022年8月	0 円
2022年2月	10 円

設定来累計 80 円

設定来= 2014年8月11日以降

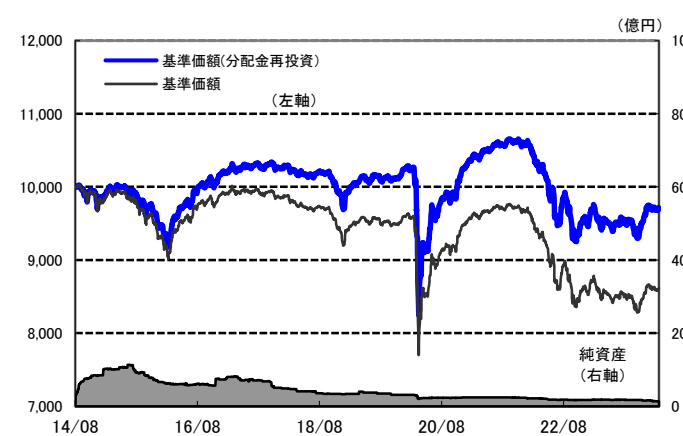
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

Cコース(米ドル売り円買い 毎月分配型)

運用実績

2024年2月29日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 8,611 円

※分配金控除後

純資産総額 1.4 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-0.0%
3カ月	1.4%
6カ月	1.7%
1年	1.3%
3年	-6.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -2.9%

- 信託設定日 2014年8月11日
- 信託期間 2024年8月6日まで
- 決算日 原則、毎月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2024年2月	10 円
2024年1月	10 円
2023年12月	10 円
2023年11月	10 円
2023年10月	10 円

設定来累計 1,130 円

設定来= 2014年8月11日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



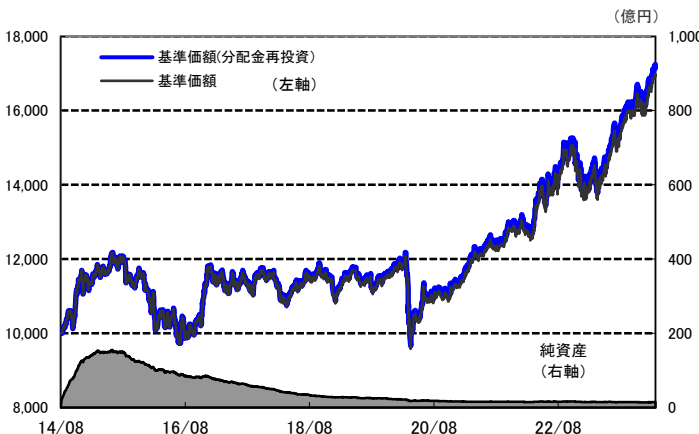
Bコース(為替ヘッジなし 年2回決算型)

運用実績

2024年2月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 16,990 円

※分配金控除後

純資産総額 14.3 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	2.5%
3カ月	5.1%
6カ月	7.7%
1年	18.1%
3年	45.7%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 72.4%

設定来累計 180 円

設定来= 2014年8月11日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2014年8月11日
- 信託期間 2024年8月6日まで
- 決算日 原則2月、8月の各6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2024年2月	10 円
2023年8月	10 円
2023年2月	10 円
2022年8月	10 円
2022年2月	10 円

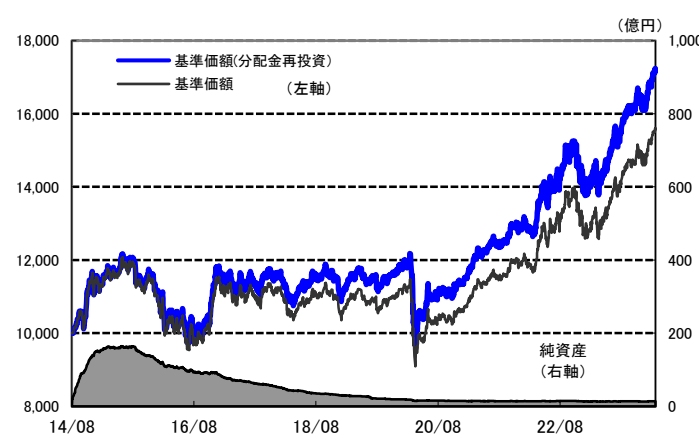
Dコース(為替ヘッジなし 毎月分配型)

運用実績

2024年2月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 15,615 円

※分配金控除後

純資産総額 13.8 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	2.5%
3カ月	5.1%
6カ月	7.7%
1年	18.1%
3年	45.7%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 72.4%

設定来累計 1,130 円

設定来= 2014年8月11日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2014年8月11日
- 信託期間 2024年8月6日まで
- 決算日 原則、毎月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2024年2月	10 円
2024年1月	10 円
2023年12月	10 円
2023年11月	10 円
2023年10月	10 円

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



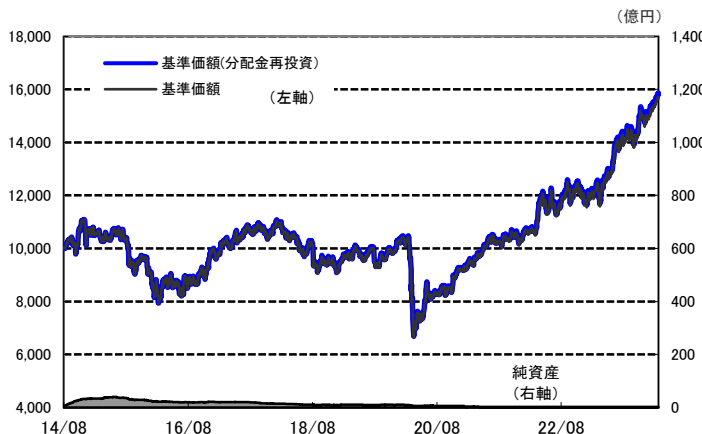
Eコース(米ドル売り選定通貨買い 年2回決算型)

運用実績

2024年2月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※	15,710 円
※分配金控除後	
純資産総額	2.0 億円

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	2.9%
3カ月	4.7%
6カ月	8.4%
1年	27.8%
3年	65.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	58.6%
-----	-------

- 信託設定日 2014年8月11日
- 信託期間 2024年8月6日まで
- 決算日 原則2月、8月の各6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2024年2月	10 円
2023年8月	10 円
2023年2月	10 円
2022年8月	10 円
2022年2月	10 円

設定来累計	110 円
-------	-------

設定来= 2014年8月11日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

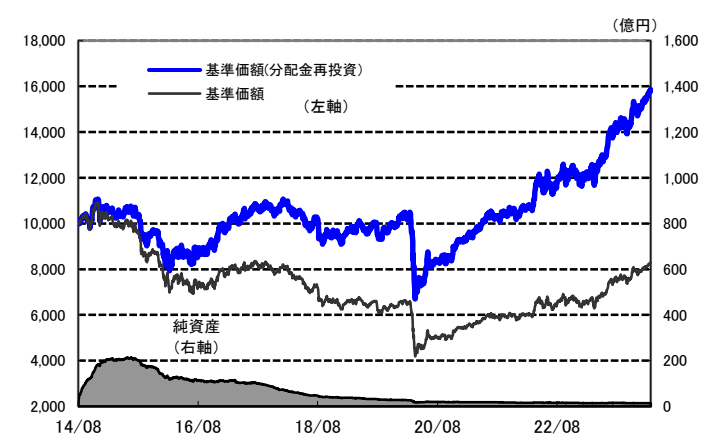
Fコース(米ドル売り選定通貨買い 毎月分配型)

運用実績

2024年2月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※	8,298 円
※分配金控除後	
純資産総額	14.3 億円

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	2.9%
3カ月	4.7%
6カ月	8.4%
1年	27.7%
3年	65.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	58.6%
-----	-------

- 信託設定日 2014年8月11日
- 信託期間 2024年8月6日まで
- 決算日 原則、毎月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2024年2月	20 円
2024年1月	20 円
2023年12月	20 円
2023年11月	20 円
2023年10月	20 円

設定来累計	4,730 円
-------	---------

設定来= 2014年8月11日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引について

為替予約取引とNDF取引

為替取引は、主に「為替予約取引」を用います。
しかし、中国元、ブラジルレアル、インドルピー、インドネシアルピアなど、一部の新興国通貨では内外の資金流出入を抑止する当局の規制などを背景とし、機動的に「為替予約取引」ができません。



そこで、**NDF取引**を活用します。

NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

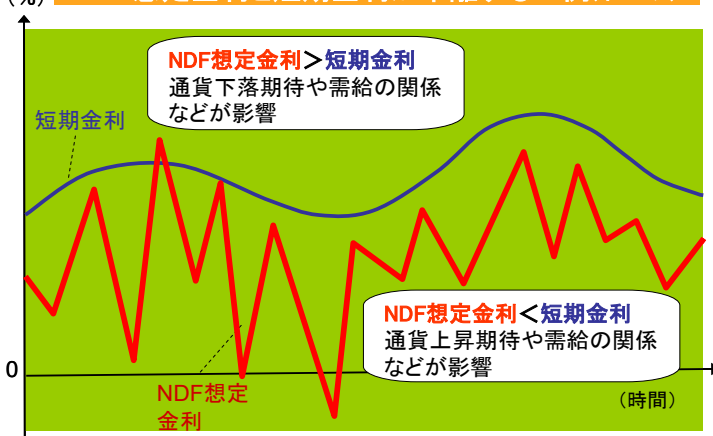
- ◆ 為替先渡取引の一種で、主に金融機関との相対で取引
- ◆ 当該通貨の受け渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済
- ◆ NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。



◎NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

乖離の背景は、各種規制で金融市場の自由度が高くないことから、割高や割安を是正する市場のメカニズムが十分に機能しないことなどが挙げられます。

(%) NDF想定金利と短期金利が乖離する一例(イメージ)



(注) 上記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。
また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

上記の要因以外でも、米ドルの短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアムが減少したり、コストが生じる可能性があります。

(出所) 各種情報に基づき野村アセットマネジメント作成

(注) 上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンドの資産内容

資産内容

2024年2月29日 現在

戦略別配分比率と寄与度		
投資戦略	純資産比	月間寄与度
ハイ・イールド債戦略	32.4%	0.2%
バンクローン戦略	32.4%	0.3%
ストラテジック・インカム /トータル・リターン戦略	32.4%	-0.1%
現金・その他	2.7%	-0.1%
合計	100.0%	0.3%

・各投資戦略以外の資産が「現金・その他」に分類されています。
 ・「ハイ・イールド債戦略」「バンクローン戦略」は、主要投資対象以外に、それぞれバンクローン、ハイ・イールド債に投資する場合があります。
 ・月間寄与度の計算には、原則、前月末の純資産比を使用しています。月間寄与度の合計は、各投資戦略の寄与度を合計したものであり、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」に係る費用等は反映していません。

格付別配分	
格付	純資産比
AAA	3.2%
AA	0.3%
A	1.6%
BBB	11.1%
BB	23.0%
B	43.1%
CCC以下および無格付	8.9%
その他の資産	8.7%
合計	100.0%

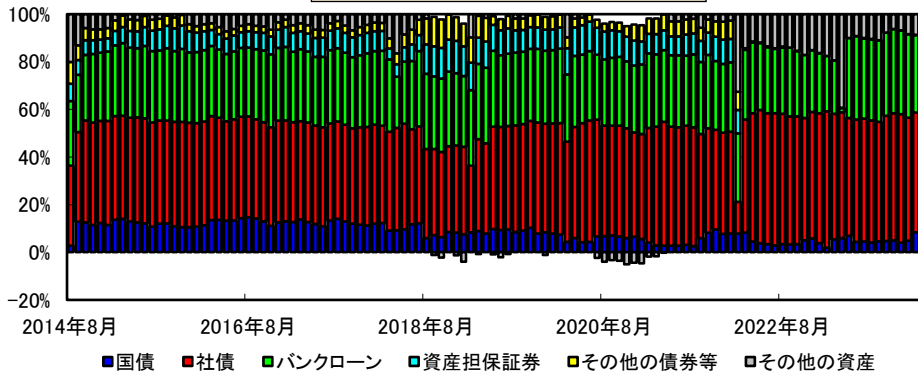
・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は副投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	BB-
平均最終利回り*	7.7%
平均デュレーション	4.9年
組入銘柄数	173銘柄

・ポートフォリオ特性値は、各副投資顧問会社のポートフォリオの特性値(最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。また、格付の場合は、現金等を除き、格付毎に数値化したものを加重平均しています。
 ・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
 ※米ドル建て以外の資産への投資にあたっては、米ドル以外の組入資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行う場合があります。その場合、平均最終利回りは、組入資産(現地通貨建て)の最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コストを反映し、表示しています。
 ・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

資産別配分	
資産	純資産比
国債	8.4%
社債	50.2%
バンクローン	32.7%
資産担保証券	-
その他の債券等	0.0%
その他の資産	8.7%
合計	100.0%

資産別配分の推移



通貨別配分(為替取引※後)	
通貨	純資産比
米ドル	99.9%
ユーロ	0.0%
英ポンド	0.0%
-	-
-	-
その他の通貨	-
合計	100.0%

※米ドル建て以外の資産に投資を行った場合は、各副投資顧問会社が、当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行う場合があります。

組入上位10銘柄			
銘柄	資産	純資産比	
TREASURY BILL 0% 23/04/24	国債	3.2%	
AIR CANADA FRN 11/08/28	バンクローン	1.5%	
DIRECTV 2024 FINAN FRN 02/08/29	バンクローン	1.3%	
AMERICAN AIRLINES I FRN 10/03/28	バンクローン	1.3%	
ASURION FRN 17/08/28	バンクローン	1.3%	
AP CORE H FRN 01/09/27	バンクローン	1.3%	
FORMULA ONE FRN 15/01/30	バンクローン	1.0%	
UNIVISION FRN 10/06/29	バンクローン	1.0%	
TRANSDIGM REFINANCI FRN 28/02/27	バンクローン	1.0%	
TRIDENT T FRN 17/09/28	バンクローン	1.0%	
合計		13.8%	

当資料は、各副投資顧問会社からのデータを基に、投資顧問会社である野村アセットマネジメントが算出したデータを使用して作成しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身で判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

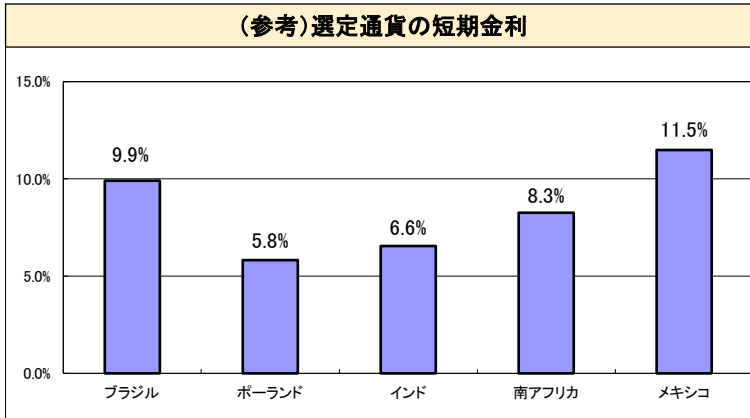


「Eコース/Fコース(米ドル売り選定通貨買い)」が投資する外国投資信託
(ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド(CRSクラス))の通貨別配分

2024年2月29日 現在

通貨別配分	
選定通貨	配分比率
ブラジル・レアル	23.5%
ポーランド・ズロチ	18.8%
インド・ルピー	17.5%
南アフリカ・ランド	19.4%
メキシコ・ペソ	22.2%

※選定通貨は、定期的に(原則、毎月)見直しを行いません。



・ブラジル:1ヵ月NDFインプライド金利、ポーランド:1ヵ月物ワルシャワ銀行間貸出金利、インド:1ヵ月NDFインプライド金利、南アフリカ:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月、メキシコ:メキシコ銀行間金利28日

(参考)選定通貨の短期金利の加重平均値	8.7%
---------------------	------

・各選定通貨の短期金利を通貨別配分の各々の配分比率で加重平均した数値です。
・NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。

■選定通貨の入れ替えについて

2024年2月29日 現在

選定通貨および基本配分比率の変更は行なっておりません。

ブラジルについては、中央銀行がインフレの鈍化を背景に下げを継続しているものの、依然として実質金利が他の新興国に比して高水準にあることを評価しています。また、コロナ禍やウクライナ情勢の緊張が高まる局面においても、国内外へコモディティの安定供給を維持した結果、同国の輸出は持続的な成長を遂げています。先進国の景気軟化が予想される環境下、ブラジルの堅固な経済ファンダメンタルズ(基礎的条件)が通貨を下支えすると考え、ブラジル・レアルの基本配分比率を25%程度で維持しました。

メキシコについては、財政収支や対外収支が安定しており、他の新興国と比較して金融・財政的に政策対応余地が残っている点の評価しています。中国やロシアなど政治体制や社会制度を異にする国における事業リスクが懸念される中で、政治的にも安定しているメキシコに米国市場をターゲットとした生産拠点を設ける「ニアショアリング」の流れが、直接投資の増加などを通じてメキシコ経済に好影響を及ぼすと考えます。一方で、米国の大統領選挙に向けた政局の動向や、予想されている景気の鈍化が米国との経済的つながりが強いメキシコへの影響を注視しています。このような環境下、メキシコ・ペソの基本配分比率を20%程度で維持しました。

南アフリカについては、国営電力会社の発電所設備の老朽化などで電力不足問題が慢性化しており、製造業や経済活動に及ぼす影響を注視しています。発表された2023年12月の製造業生産高は前年同月比+0.7%と低位にとどまっている一方で、1月のCPI(消費者物価指数)は前年同月比+5.3%と高水準で推移しており、低成長下でのインフレ圧力の高止まりが懸念されています。このような環境下、南アフリカ・ランドの基本配分比率を20%程度で維持しました。

ポーランドについては、力強い個人消費・投資・輸出に支えられた安定的な経済成長を実現してきたことを評価しています。また、2023年10月の総選挙において親EU(欧州連合)の野党勢力が過半数を確保したことで、今後同国がEUとの協調重視に回帰する可能性が期待されます。1月のCPIは前年同月比+3.9%と前月の同+6.2%から鈍化したものの、賃金上昇圧力とエネルギー価格上昇の両面からの影響でインフレ圧力は継続すると見えています。このような環境下、ポーランド・ズロチの基本配分比率を20%程度で維持しました。

インドについては、引き続き長期的な経済発展を見込んだ旺盛な投資資金流入が通貨の下支えになると考えています。一方で、原油をはじめとした資源の輸入依存度が高い同国において、資源価格の高止まりが国際収支に与える影響を注視しています。また、グローバルに新興国に対するリスク選好姿勢が改善する際には、通貨の上昇が相対的に小幅にとどまりやすいと考え、インド・ルピーの基本配分比率を15%程度で維持しました。

この結果、選定通貨および基本配分比率を以下の通りとしました。

ブラジル・レアル 25%程度、メキシコ・ペソ 20%程度、南アフリカ・ランド 20%程度、ポーランド・ズロチ 20%程度、インド・ルピー 15%程度

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



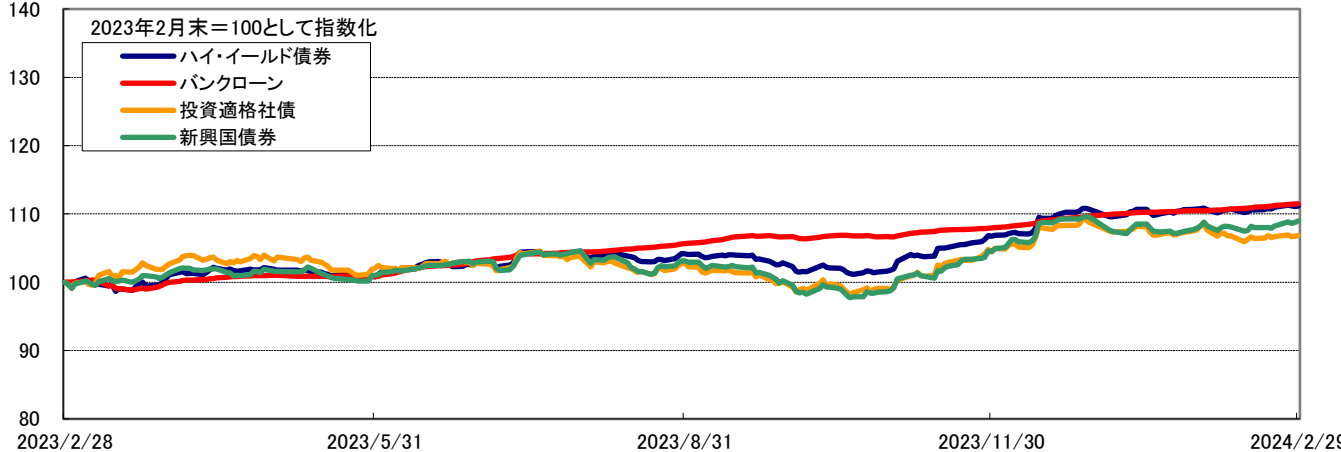
ご参考資料

追加型投信/海外/資産複合

各資産の指数

2024年2月29日 現在

各資産の指数(米ドルベース)

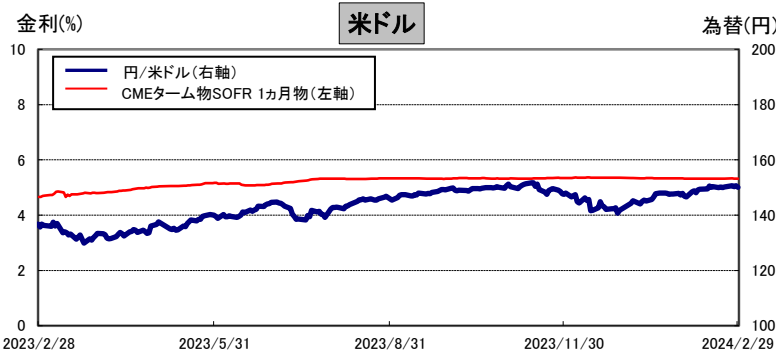


・出所:ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメント作成
 ハイ・イールド債券:ICE BofA Global High Yield Constrained Index
 バンクローン:Morningstar LSTA米国レバレッジド・ローン・インデックス
 投資適格社債:ICE BofA Global Corporate Index
 新興国債券:JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル
 ・「ICE BofA Global High Yield Constrained Index SM/®」,「ICE BofA Global Corporate Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社(「ICEデータ」)の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。
 ・JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバルは、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、エマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。
 ・上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米ドルの為替レートおよび短期金利(日次)

2024年2月29日 現在

— : 為替レート:円/対象通貨で表示
 — : 対象通貨国の短期金利



・出所:ブルームバーグ等のデータに基づき野村アセットマネジメント作成
 ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

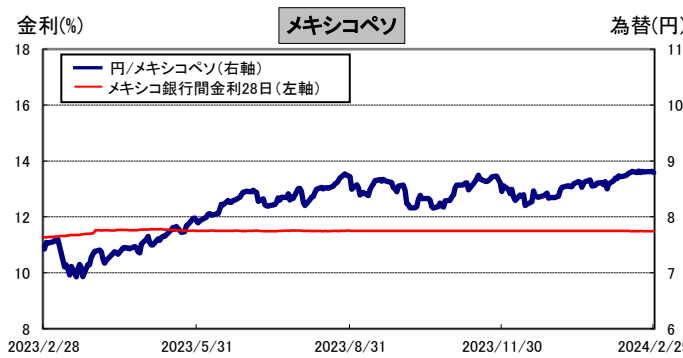
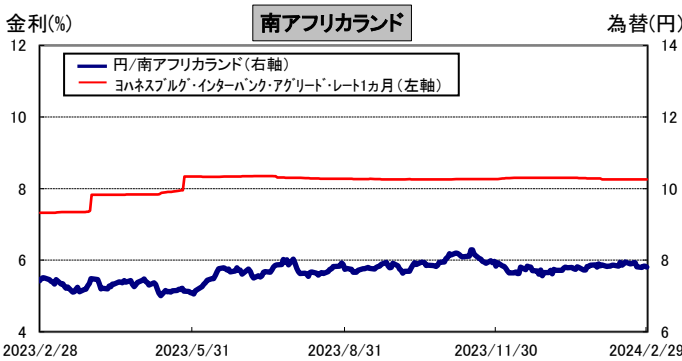
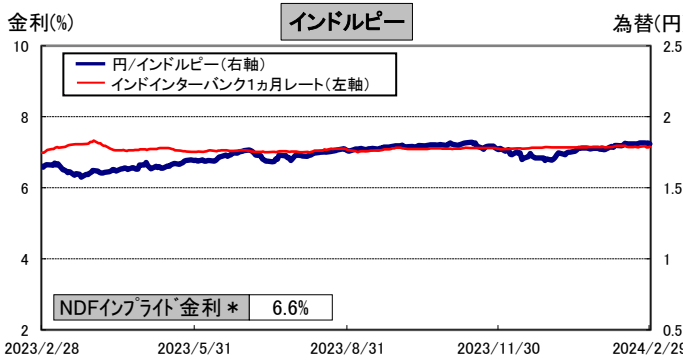
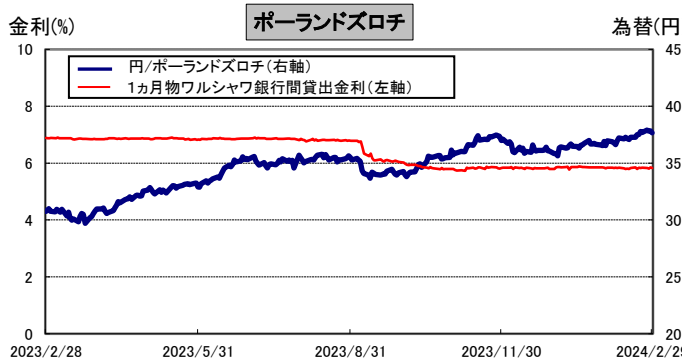
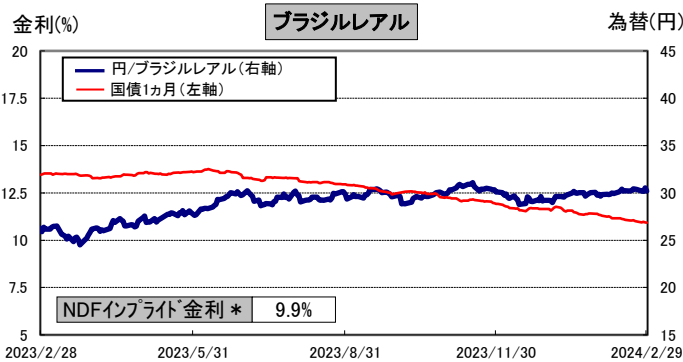
商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



「Eコース/Fコース(米ドル売り選定通貨買い)」の対象通貨国の為替レートおよび短期金利(日次)

2024年2月29日 現在

— : 為替レート: 円/対象通貨で表示
— : 対象通貨国の短期金利



* NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。

NDFについては4ページをご参照ください。

・出所: ブルームバーグ等のデータに基づき野村アセットマネジメント作成

・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○米国ハイ・イールド債券市場はICE BofA・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックスで見ても、+0.13%の値上がりとなりました。

1月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回る増加となったことや市場予想を上回った1月の米CPI(消費者物価指数)などを受けて米金利が上昇する中で下落する局面もありましたが、その後は良好な米半導体製造大手企業の決算などを受けて米国株式市場が上昇基調で推移したことを背景に市場心理が改善し、スプレッド(利回り格差)が縮小したことから、月間では小幅な値上がりとなりました。

○バンクローン市場はCSレバレッジド・ローン・インデックス※で見ても、+0.89%の値上がりとなりました。

米国長短金利が上昇する中、米国経済のソフトランディング(軟着陸)期待の高まりを受けて米国株式市場が上昇基調となったことから、良好な市場心理を背景にバンクローン市場は堅調に推移し、月間で値上がりとなりました。

※CSレバレッジド・ローン・インデックスは、クレディ・スイス社が公表するバンクローンの値動きを示す代表的な指数であり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○基準価額(分配金再投資)はAコース、Cコース(米ドル売り円買い)は下落、Bコース、Dコース(為替ヘッジなし)は上昇、Eコース、Fコース(米ドル売り選定通貨買い)は上昇となりました。

○ファンドが投資対象とする外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」の組入比率は、高位を維持しました。

○格付別配分は、B格の比率が高めとなりました。投資通貨は一部の通貨を除き対円で上昇しました。メキシコでは、1月のコアCPIは前年同月比+4.76%と2023年12月の同+5.09%から低下し、デysinフレ傾向が確認されました。また10-12月期の経常収支では市場予想を上回る黒字が示されました。健全なファンダメンタルズ(基礎的条件)が好感され、メキシコペソは対円で上昇しました。

今後の運用方針(2024年2月29日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国ハイ・イールド債券市場は、デysinフレ傾向が継続する中、堅調な米国経済や米国株式市場、および利下げが今後の金融政策と想定されているFRBの動向について注視する必要があります。これまでの高インフレや金融引き締めで企業収益が圧迫される可能性は高まっており、デフォルト(債務不履行)率は上昇していくと考えられます。バンクローン市場に関しては、企業の弁済順位の高さや変動金利という性質などから、金利上昇時あるいは経済の先行きが不透明な際にも、底堅く推移すると思えます。

○当ファンドは、高利回り事業債(ハイ・イールド債)を含む世界の債券※および米ドル建ての企業向け貸付債権(バンクローン)を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲイン(利子収入)の確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

※国債、政府機関債、国際機関債、社債など。ハイ・イールド債のほか、新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券(現地通貨建てを含みます。)等を含みます。

*当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

(注)投資対象とする外国投資信託の各副投資顧問会社からの情報提供に基づき作成しています。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託における為替取引手法、分配頻度の異なる6つのコース(Aコース、Bコース、Cコース、Dコース、Eコース、Fコース)から構成されています。
- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
- 高利回り事業債(ハイ・イールド債)を含む世界の債券*1および米ドル建ての企業向け貸付債権(バンクローン)を実質的な主要投資対象*2とします。
 ※1 国債、政府機関債、国際機関債、社債など。ハイ・イールド債のほか、新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券(現地通貨建てを含みます。)等を含みます。
 ※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
 ・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」には、為替取引手法の異なる3つのクラスがあります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
Aコース、Cコース (米ドル売り円買い)	原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行いません。
Bコース、Dコース (為替ヘッジなし)	組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
Eコース、Fコース (米ドル売り選定通貨買い)	原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドルを売り、選定通貨*(米ドルを除く)を買う為替取引を行いません。

※選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した通貨を指します。
 詳細は、交付目論見書の「投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆通常状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
 ※通常状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」の主な投資方針について■

- ・ハイ・イールド債*1を含む世界の債券および米ドル建てのバンクローン*2を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
 ※1 ハイ・イールド債とは、S&P社による格付がBB+以下、あるいはムーディーズ・インベスターズ社による格付がBa1以下の債券(格付のない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)をいいます。
 ※2 バンクローンは、事業会社等が事業の拡大等に必要な資金を調達するために、銀行等の金融機関等から借入れるローンをいいます。
- ・投資にあたっては、3つの投資戦略(「ハイ・イールド債戦略」、「バンクローン戦略」、「ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略」)に配分します。
 なお、1投資戦略あたりの配分比率は、原則として、純資産総額の25%以上50%以内に維持することを基本とします。

投資戦略	主な投資方針
ハイ・イールド債戦略	世界のハイ・イールド債を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
バンクローン戦略	米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略	ハイ・イールド債を含む世界の債券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインとキャピタルゲインの獲得によるトータル・リターンの追求を目指します。

・バンクローンへの投資にあたっては、主として、変動金利型で、債券等に比べ返済順位が高く、取得時においてS&P社による格付がBB+以下、あるいはムーディーズ・インベスターズ社による格付がBa1以下のもの(格付のない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)に投資を行いません。

- ・投資顧問会社が、世界の債券および米ドル建てのバンクローンの運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
- ・副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、各投資戦略の運用において優れていると判断した運用会社を選定します。
- ・投資顧問会社は選定した副投資顧問会社およびファンド全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。
- *投資顧問会社は、副投資顧問会社の選定および信託財産の配分比率決定にあたり、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社より助言を受けます。

投資戦略	副投資顧問会社
ハイ・イールド債戦略	・Aegon USA Investment Management, LLC (注) ・Nomura Corporate Research and Asset Management Inc.
バンクローン戦略	・Nuveen Asset Management, LLC (注)
ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略	・Nomura Corporate Research and Asset Management Inc.

(注)2023年10月現在、副投資顧問契約の解約に向けて対応を進めています。副投資顧問会社はNomura Corporate Research and Asset Management Inc.へ変更となる予定です。

- ・出所:投資顧問会社(野村アセットマネジメント)作成
- ・上記は2024年2月29日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
 - 「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」を構成する「年2回決算型」のファンド間および「毎月分配型」のファンド間でスイッチングができます。
 - 分配の方針
 - ◆年2回決算型(Aコース、Bコース、Eコース)
 - 原則、毎年2月および8月の6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
 - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
 - ◆毎月分配型(Gコース、Dコース、Fコース)
 - 原則、毎月6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
 - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。
- * 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券およびバンクローン等に実質的に投資する効果がありますので、金利変動等による当該債券およびバンクローンの価格下落や、当該債券およびバンクローンの発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2024年8月6日まで(2014年8月11日設定)
- 決算日および収益分配 【年2回決算型】(Aコース、Bコース、Eコース) 年2回の決算時(原則、2月および8月の6日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。 【毎月分配型】(Gコース、Dコース、Fコース) 年12回の決算時(原則、毎月6日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万円以上100単位(当初元本100=1円) または1万円以上100単位 (ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。) ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「年2回決算型」(Aコース、Bコース、Eコース)のファンド間および「毎月分配型」(Gコース、Dコース、Fコース)のファンド間でスイッチングが可能です。 ※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
 - ・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
 - ・ロンドン証券取引所 ・ロンドンの銀行
 - ・ルクセンブルグの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.1%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ^{(注1)(注2)} ・A、B、C、Dコース: 1000億円以下の部分 年1.98%程度(税込) 1000億円超の部分 年1.93%程度(税込) ・E、Fコース: 1000億円以下の部分 年2.13%程度(税込) 1000億円超の部分 年2.08%程度(税込) (注1)ファンドが投資対象とする外国投資信託の全クラスの合計の純資産総額に応じた率となります。 (注2)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
 ☆サポートダイヤル☆ 0120-753104(フリーダイヤル)
 <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時
 ☆インターネットホームページ☆ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> **野村アセットマネジメント株式会社**
 [ファンドの運用の指図を行なう者]
 <受託会社> **野村信託銀行株式会社**
 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



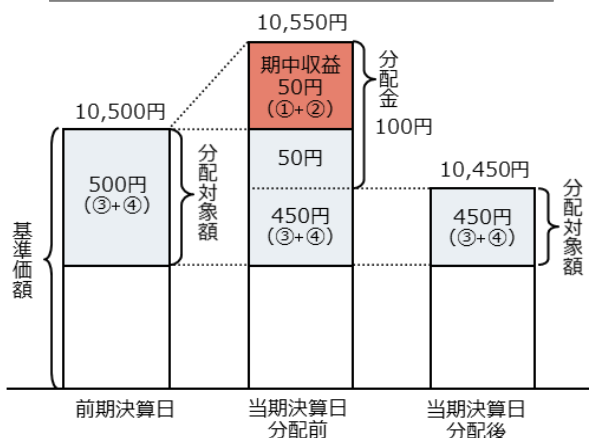
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

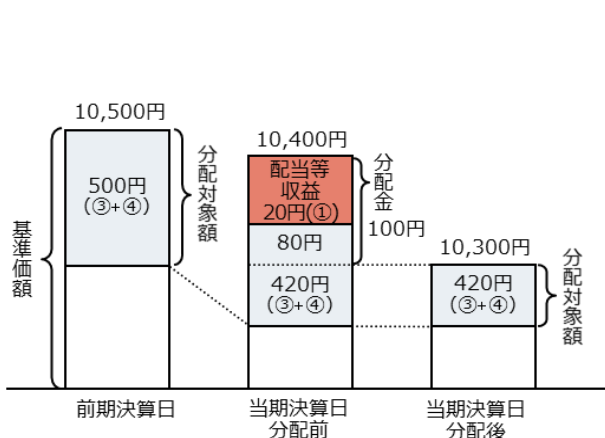
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



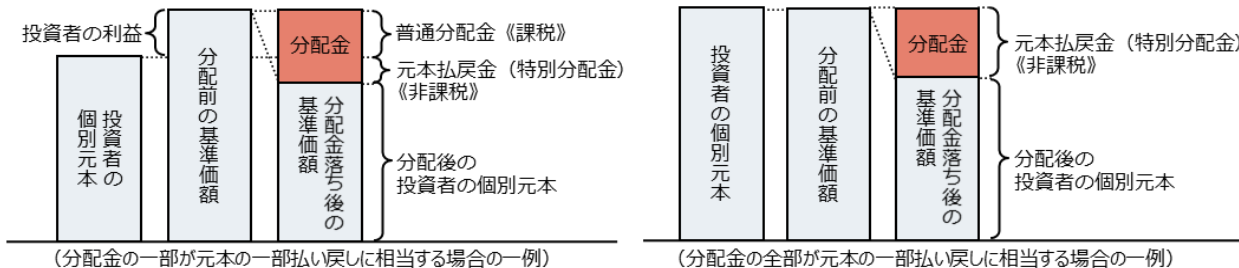
前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についての確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村グローバルボンド投信(通貨選択型)

Aコース/Bコース/Cコース/Dコース/Eコース/Fコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。